

2021年5月11日

中期経営計画見直しについて

当社は、本日開催した取締役会において、2019年5月10日に公表した中期経営戦略『NP5Y-Challenge50』（2020年3月期～2024年3月期）について、昨今の事業環境が大きく変化したことにより、新たに2022年3月期からの5年計画と更にその先の5年を見据えた中期経営戦略『VISION25/30』を策定しましたのでご報告いたします。

1. 見直しの理由

2021年3月期の当社業績は新型コロナウイルスの影響により、3期ぶりの減収となりました。そのような中、各事業の現況は衛生検査器材事業につきましては食品衛生業界の産業構造が大きく変化する中で2020年10月以降、前年を上回る需要に回復し、本来閑散期である前第4四半期単独売上高は創業以来過去最高となりました。また、半導体資材事業につきましても2021年1月以降、液晶テレビの需要急回復と8Kテレビの普及拡大により、大幅な受注増となっております。一方、PIM事業においては2020年12月の量産開始を目指し進めていた既存ターボ部品の自動車メーカーでの最終評価がコロナ禍の混乱の中で遅延しました。また、工作機械、半導体設備用高機能部品量産品の受注も大きく低迷致しました。現在、既存ターボ部品の1車種、5品番の量産開始は2021年10月で決定し、THK向け直動型ベアリングやセラミックス製CMOSセンサー部品等の高機能部品は徐々に需要が回復しつつあります。2022年3月期の業績見通しは全事業において増収・増益を見込んでおります。

以上の昨今の目まぐるしく変化する事業環境を踏まえ、中長期的経営課題を総合的に勘案し、2021年6月より経営体制を一新し、新たな経営戦略の下10年後の「ありたい姿」を実現すべく、更なる企業価値の向上に努めて参ります。

2. 新中期経営戦略『VISION25/30』について



新中期経営戦略
『VISION20-30』

●基本方針は以下の通りです。

- 1) 現有戦力（ヒト・モノ・カネ）により収益拡大させることによる財務健全化
- 2) 4大製品投入による成長戦略の推進
※PIM製品のみならず、全事業、新分野へ新製品を投入
- 3) 成長事業への選択と集中⇒事業ポートフォリオの再編
- 4) 経営体制刷新（執行役員制の導入）
- 5) ESG経営⇒事業活動を通じたSDGs達成への貢献

●2025年度経営目標は以下の通りです。

- 1) 連結売上高 : 40億円以上（目標50億円）
- 2) 連結営業利益 : 5億円 必達
- 3) 連結営業利益率 : 10% 必達

2016年に滋賀本社工場を設立し、成長事業及び自動化による合理化など、積極的な投資を実行して参りました。先ず、先の5年間『VISION25』はこれらの経営資源をフルに活用し、人材育成を当社における最大の経営課題と捉え、経営目標の実現と次の5年『VISION30』に向け『社員と共に成長・拡大する企業』を目指し、努力致します。

以上